



Into the Future with Green Tea

PRODUCTS CATALOGUE

ドラム式萎凋機

高品質化と省力化を実現



仕様

ドラム式萎凋機はカワサキ機工株式会社と宮崎県との共同研究で開発された装置です

規格	機械寸法 (mm)			ドラム寸法 (mm)		処理能力 (kg/バッチ)	オプション		
	間口	奥行	高さ	直径 (内法)	長さ (内法)				
WL60K-MI	3,925	1,690	1,810	1,100	3,000	50 ~ 80	ロードセル 計量	日干萎凋 ユニット 7.2kW	
	空調寸法 (mm)			本機動力 (kW)	空調動力 (kW)				
	間口	奥行	高さ		冷風時				温風時
	430	420	1,050	0.2	3.64				8.14

"Into the Future with Green Tea"

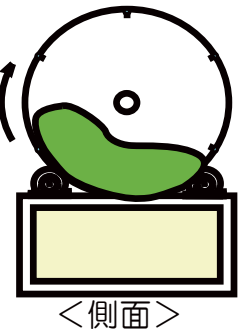
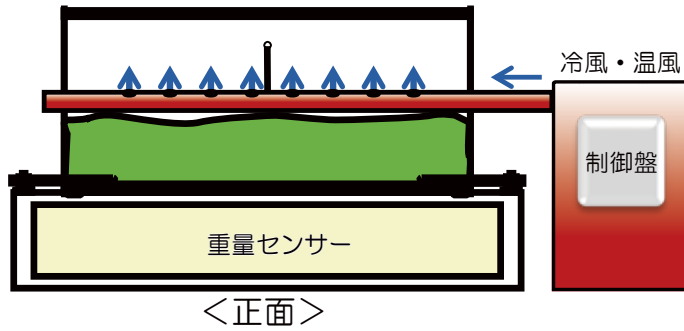
カワサキ機工株式会社

ドラム式萎凋機の特長

烏龍茶製造の流れ



日干ユニット※オプション



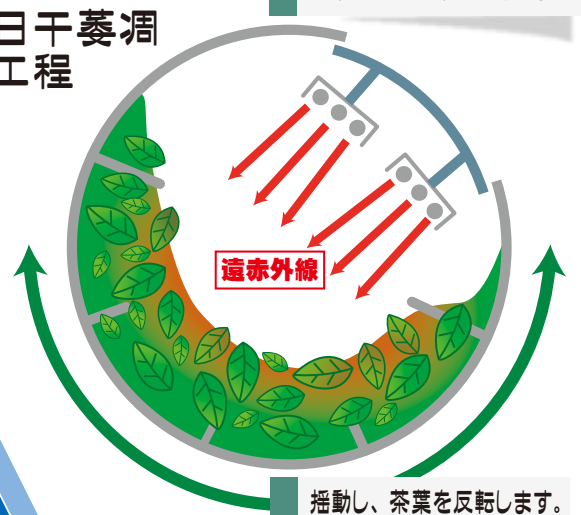
- 烏龍茶において香気発揚に重要な室内萎凋の静置と攪拌作業を行います。今まで手作業で、約13時間かけ処理していた工程を自動化し、大幅な高品質化と省力化を実現しました。
- 処理量は1バッチあたり50～80kgで、約8～16時間かけて萎凋をおこないます。
- 自動制御は、温度・回転数・回転時間や間隔などを多段階で設定し、用途に合わせ幅広い品質（萎凋香緑茶～烏龍茶～紅茶）のお茶作りが可能です。
- 重量センサーで萎凋度（重量変化）が一目でわかります。（オプション）

日干ユニット ドラム式萎凋機オプション

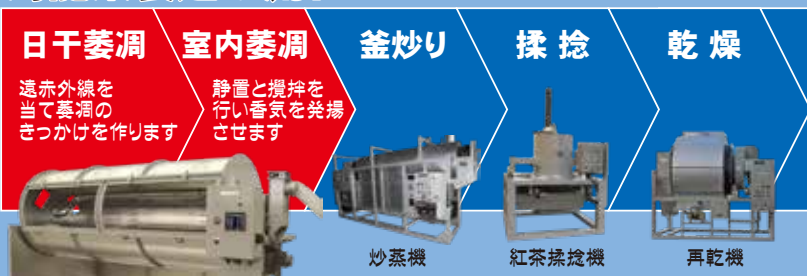
- ・ 赤外線を活用した日干萎凋の代替技術です。
- ・ 赤外線アタッチメントを取り付け全萎凋工程を自動化できます。
- ・ 天候に左右されず安定した萎凋を行うことができます。



日干萎凋 工程



烏龍茶製造の流れ



ドラム式萎凋機

日干萎凋時には日干ユニットを付け、
静置萎凋時には扉を付けて萎凋します。

制御画面

葉温、撹動速度を制御できます。
日干萎凋中の重量も計測可能です。

